

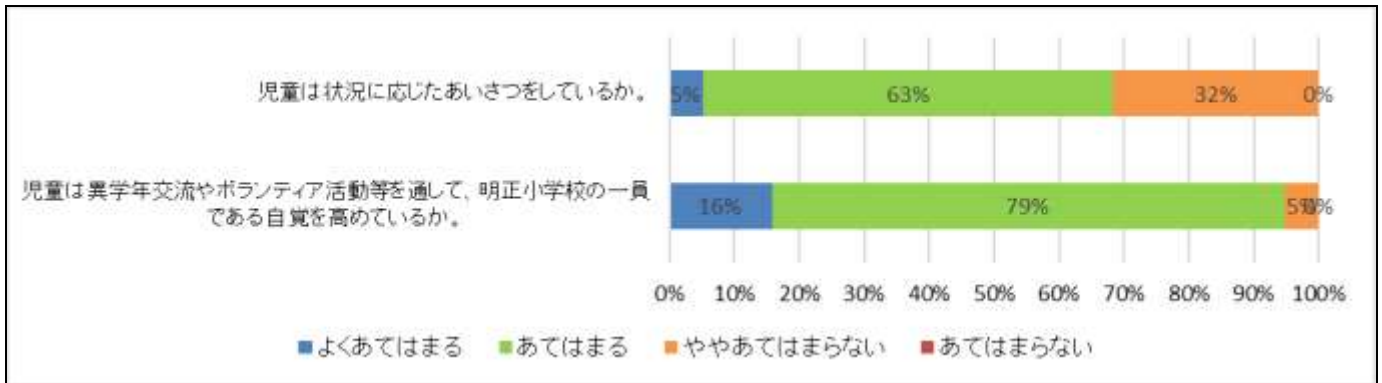
令和元年度 明正小学校 自己評価報告書

学校名：中央区立明正小学校 所在地：中央区新川 2-13-4  
 校長名：佐藤 興二 児童数：318名 学級数：11 通級指導学級：3  
 教員数：24名 事務主事：1名 用務主事：2名 栄養士：1名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

(1) 重点目標1「コミュニケーション力を育む教育活動」

〈教員の自己評価〉

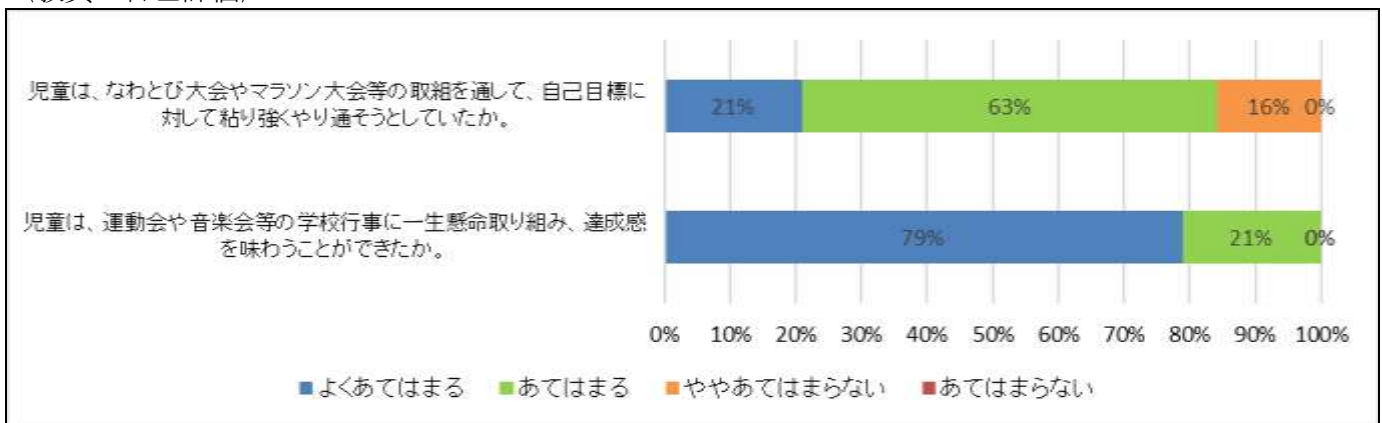


「あいさつ」については、保護者・児童アンケートでは90%以上の肯定的な評価をいただいたものの、教員では30%以上が否定的な評価であり、課題が見られました。児童は、登校時の校門や教室等の特定の場面ではよくあいさつができますが、日常の学校生活の中では必ずしもよいあいさつができているとは限りません。TPOに合わせたあいさつができるようにしていきたいとの教員の願いが表れているものと思われます。「明正小学校の一員である自覚」については、90%以上の肯定的な評価であり、良好な状況と言えます。

日頃から相手を思いやるとともに、自己の思いを適切に伝えることを指導することで、良好な人間関係を構築することに努めてまいりました。また、教科の学習で表現活動、話し合い活動を積極的に取り入れたり、異年齢で構成する縦割り班で活動する機会を設けたりすることで、児童のコミュニケーション力を育てまいりました。これらの取組を引き続き行い、さらに充実させてまいります。

(2) 重点目標2「最後までやり遂げる力（実行完結力）を育む教育活動」

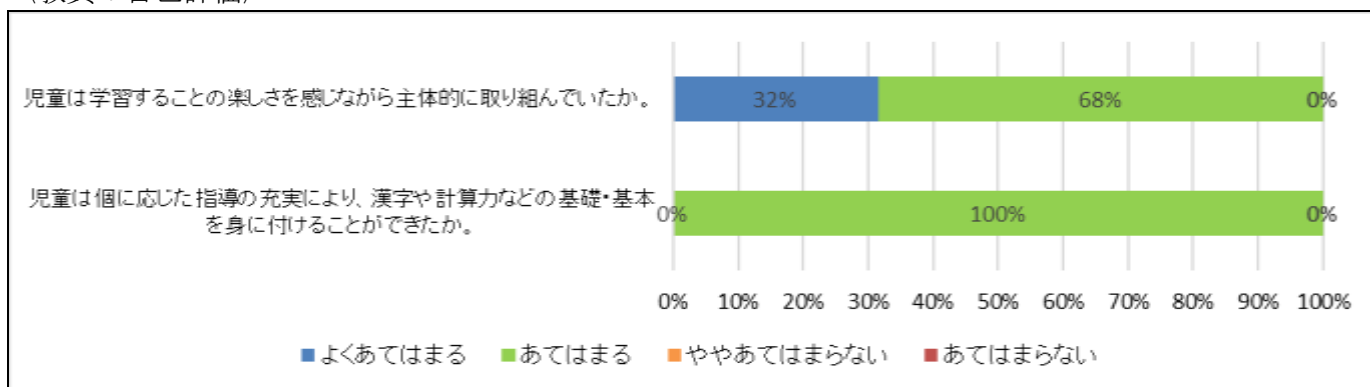
〈教員の自己評価〉



教員の評価では、「なわとび大会やマラソン大会等の取組」において、肯定的な評価が90%を下回ったものの、その他の評価項目では保護者アンケートも含め、良好な状況と言えます。

なわとび大会やマラソン大会の実施は、児童が自己の目標に対して挑戦する気持ちを高める取組として成果が見られます。また、運動会や音楽会等の行事では、児童一人一人にめあてをもたせ、事後に振り返りを行うよう指導しました。この取組により、児童は自らを律し、最後までやり遂げる経験を積み、達成感を味わうことができました。今後も行事を通して児童の実行完結力を育成してまいります。

(3) 重点目標3「物事を捉える視点や考え方(見方・考え方)を身に付けさせる教育活動」  
 〈教員の自己評価〉



教員の評価では、「よくあてはまる」「あてはまる」との回答が100%であり、達成状況は良好と言えます。しかしながら、保護者アンケートでは89.6%の肯定的な評価をいただいたものの「基礎・基本」において、一部「ややあてはまらない」との評価がありました。

昨年度・今年度は、研究奨励校の指定を受け、児童が主体的に取り組み、考えを深め、表現する授業づくりを研究してまいりました。児童は物事を捉える視点や考え方を身に付け、学びや気付きの質が高まった様子が成果として見られます。また、習熟度別少人数指導(第2学年以上の算数において実施)、個に応じた指導等により基礎・基本の定着を図ってまいりました。基礎・基本の力を確実に身に付けさせ、それらを活用する力を継続的に育成してまいります。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

重点目標以外については、保護者アンケートにおいて19項目中18項目で85%以上の肯定的な評価をいただき、達成状況は概ね良好と言えます。

肯定的な評価が80%に達しなかった項目の中に「コンピュータや図書室の活用」があり、課題であると捉えています。学校では今年度もICT機器や図書室等の設備・施設の整備を進めるとともに、それらを活用した教育活動を推進してまいりました。今後も一層の充実に努めてまいります。

また、「児童の悩み、トラブルなどへの対応」について「ややあてはまらない」「あてはまらない」の回答が6.6%あったことは課題であると捉えています。全教職員はもとより保護者や地域の方々、関係機関等と連携・協力しながら児童の健全育成に努めてまいります。

3 今後の改善方策

○コミュニケーション力を育むために

- ・「あいさつリーダー」等の活動を通して、あいさつや言葉づかいの指導を充実させ、人権尊重の精神を涵養する。
- ・各教科の学習において話し合い活動を充実させることで、自分の考えをもち、表現するとともに、相手の考えを聞き、認める力を育成する。
- ・縦割り班活動等を通じた異年齢交流や、親子協議会、ふれあい給食等による地域の方々との交流活動を推進することで、明正ファミリーの一員としての自覚を高める。

○最後までやり遂げる力(実行完結力)を育むために

- ・体育朝会を定期的に行うとともに、マイスクールスポーツである縄跳び、ペースランニングに意欲・関心をもって取り組ませ、粘り強くやり通す心と体を育む。
- ・運動会、展覧会等の行事を通して、仲間と協力して物事をやり遂げる力の育成を図る。

○物事を捉える視点や考え方(見方・考え方)を身に付けさせるために

- ・児童が主体的に課題追究に取り組み、対話、発表、議論等を行うことで、より深い学びにつながるような授業改善を行う。
- ・学力調査等を基に児童の学習状況を的確に把握するとともに、習熟度別少人数指導等を通じた個に応じたきめ細かい指導を実施し、基礎・基本の定着を図る。

○家庭・地域との連携を密にするために

- ・地域の教育力を積極的に活用し、児童にとって地域のよさを実感できる教育活動を推進する。
- ・学校公開、ホームページ、学校便り等を活用し、積極的に情報発信をしていく。